

## グローバルパイオニアシンポジウム in 北九州 に参加しました！



会場：北九州大学

文部科学省の「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」事業の一環である「グローバルパイオニアシンポジウム in 北九州」に、本校高校1年生30名が参加しました。

開会行事に続いて行われたトークイベント「世界のトビウの開きかた～Step out to the World～」では、東洋学園大学の太西泰斗先生と東進ハイスクール・ビジネススクール講師の安河内哲也先生の講演がありました。大



大西先生講演

西先生からは、「英語はユニット（意味の固まり）で頭に入れる」「言いたいことをまず言って、どんどん説明を加えていく」など、具体的な英文



安河内先生講演

の作り方のアドバイスをいただきました。安

河内先生の講演では、まず、“The only way to do great work is to love what you do. If you haven't found it yet, keep looking. Don't settle.”（偉大な仕事をする唯一の方法は自分がやっていることを好きになることだ。もしそれがまだ見つからないのならば、探し続けよ。安住するなかれ。）というスティーヴ・ジョブズ氏の言葉を暗唱する活動に会場全体で取り組みました。安河内先生は「英語は訓練する科目。英文が自然に口から出てくるまで何度も何度も練習することが大切だ。」と述べられ、会場中に英文が響き合う活動に参加者を次々に巻き込んでいきました。終

わった後は「なんとなく英語が話せるような気持ちになった…」そんな表情が生徒たちには見られました。ワークショップでは、アメリカの大学で課題が提示される場面と、空港で搭乗予定の飛行機が欠航になった場面での英会話が示されました。場面に応じた表現を使うことだけでなく、説得力のある表現を使うことの大切さを学ぶことができました。また、グローバル社会においては、積極的に発言することが大事。そうしないと、韓



ワークショップ：グローバルな場面での英会話



留学生による  
プレゼンテーション

国や中国など他国の人たちに会話の主導権を取られてしまうとの指摘もありました。その後、長崎大学経済学部からタイから来ている留学生のプレゼンテーションを聞いたり、参加大学や企業のブースを覗いて話を聞いたり、大学生活や留学について生徒たちは多くのことを学んだようです。片道3時間の長旅でしたが、世界に向けて心のトビウが大きく開いた一日でした。



参加大学のブースで  
情報をGET！